

議会だより みなかみ



令和2年(2020年)
7月15日発行

63号

6月定例議会

特集	2
臨時議会(4月)	4
本会議審議内容及び結果	5
一般質問	6
この町あるある	14

特集

コロナ対策

補正予算



バックナンバー
が見られます。



群馬県利根郡みなかみ町

表紙写真：奥利根湖(矢木沢ダム)

コロナ対策補正予算

町民の皆さまへ

本町における新型コロナウイルスの感染者は、町民、事業者の皆さまが外出自粛の徹底や営業の自粛などにご協力いただいたおかげで、今のところ確認されておりません。皆さまに改めて感謝を申し上げます。

一方、未だ一部の都道府県で新規感染者が確認され、予断を許さない状況です。ここで気を緩めると、新規感染者が再び急増する第2波を招く恐れがあります。新型コロナウイルス感染症の収束に向け、今後も皆さまのご協力が必要であり、議員も皆さまの願いや思いに耳を傾け、課題に取り組んでいく所存です。

町民の皆さま、事業者の皆さま、共にこの難局を乗り越えていきましょう。

議長 小野 章一

4月臨時議会と6月定例会で可決された補正予算は、今までにない規模の大型補正となりました。国からの特別定額給付金事業費補助金 18 億 6000 万円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1 億 767 万円さらに財政調整基金5億円等を財源とした総額 25 億 3593 万円の補正予算です。町民の生活と町の経済を守るための事業を一部紹介します。

補正

一般会計 4月総額
163億5158万円

補正額
21億4158万円

歳入

分担金及び負担金（給食費・保育料減免）
△ 3748 万円
国庫支出金…………… 19 億 298 万円
財政調整基金繰入金…………… 2 億 7608 万円

△はマイナス（端数処理あり）

歳出

特別定額給付金事業…………… 18 億 8500 万円（国）
子育て世帯臨時特別給付金事業 1798 万円（国）
子育て支援拡充事業…………… 1053 万円（町）
地域の農林水産物利用促進事業 1000 万円（町）
臨時特別商品券事業…………… 1 億 9187 万円（町）
災害対策用物資備蓄事業…………… 500 万円（町）
その他…………… 2120 万円

補正

一般会計 6月総額
167億4593万円

補正額
3億9435万円

歳入

国庫支出金…………… 1 億 3793 万円
県支出金…………… 654 万円
繰入金…………… 2 億 4988 万円

△はマイナス（端数処理あり）

歳出

議員報酬・福利厚生事業…………… △ 430 万円（町）
職員人件費（特別職）事業…………… △ 156 万円（町）
障害福祉サービス事業…………… 637 万円（国）
特別持続化給付金事業…………… 2 億 2000 万円（町）
公立学校情報機器整備事業…………… 1 億円（国）
その他…………… 7384 万円

町民一人あたり 1 万円分の商品券を配付

臨時特別商品券事業



1億9187万円

国の緊急事態宣言発出による休業要請や自粛で収入が減少したり、休校で家庭の支出・手間が増加するなど、私たちの生活に大きな影響を与えました。それを少しでも補うため全町民へ1万円分の特別商品券を配付しました。現金給付ではなく、町内での利用に限定される商品券にしたことにより、町内業者への支援にもつながります。また、商品券の有効期限を11月末としたことで、早期に町内経済を活性化する効果も期待されます。

新生児にも 10 万円を給付

新生児特別定額給付金



※写真はイメージです。

800万円

コロナ禍の中、経済的・精神的負担を受けたと思われる妊産婦世帯の支援を目的に、国の特別定額給付金の対象にはならない4月28日以降、令和3年3月31日までの新生児に10万円を給付します。この事業が、健診や両親教室等の参加に制限があるなかでも、新たな命を迎え、健やかな生活をおくる一助になることを望みます。



町立小中学校へ児童生徒一人 1 台の情報端末を整備

公立学校情報機器整備事業



※写真はイメージです。

1億円

国の補正予算（GIGAスクール構想）を受け、学校のICT教育環境整備を加速するため、本年度から4年をかけて整備するとして計画を前倒しして、本年度中に児童生徒に1人1台のタブレット等を使える環境を整えます。機器の品不足等課題もありますが、関係機関と協議を進め、早急に整備されることを期待します。

※1 ICT・インターネットなど通信技術を利用した産業やサービスなどの総称。

4月議会臨時会 あらまし

4月28日に臨時議会が開催された。専決処分報告5件、人事1件、条例2件、補正予算1件を審議した。

※1 専決処分…町長が議会に代わって意思決定を行うこと。次の会議に報告し、規程のないものは承認を求めなければならない。

審議内容及び結果



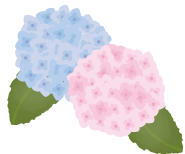
固定資産評価員の選任

次の方の人事案に同意した。
なかしま しゅういち
中島 修一氏（藤原上区）



介護保険

第1号被保険者のうち低所得者の保険料軽減強化のため、介護保険条例の一部を改正。



4月議会臨時会議案の内容及び議決結果

	議案番号	議案内容	議決結果
その他	報告第1号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告	全会一致可決
	承認第1号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告	全会一致可決
条例他	承認第2号	税条例等の一部を改正する条例の専決処分報告	全会一致可決
	承認第3号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分報告	全会一致可決
	承認第4号	都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分報告	全会一致可決
	議案第52号	固定資産評価員の選任	全会一致可決
	議案第53号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
	議案第54号	介護保険条例の一部を改正する条例	全会一致可決
補正	議案第55号	一般会計補正予算（第1号）	全会一致可決

6月議会 あらまし

2日から12日までの会期で6月定例議会を開いた。発議1件、人事2件、条例7件、その他6件、補正予算1件を議決した。一般質問は7人であった（6～13頁）。

審議内容及び結果

議会の流れ

6月2日 本会議

一般質問

6月3日 本会議

一般質問

議会全員協議会
議会運営委員会

6月4～8日 常任委員会

総務文教常任委員会
厚生常任委員会
産業観光常任委員会

6月9日 特別委員会

議会だより編集特別委員会

6月12日 本会議

補正予算



議員報酬減額

令和2年7月1日から令和3年3月31日までの間、報酬月額を10%減額するための条例改正。

討論賛成 阿部 清議員

感染症対策町単独事業の財源確保の一つとすべき。本条例改正は妥当である。



町長、副町長、教育長の給与減額

令和2年7月1日から令和3年3月31日までの間、給与月額を10%減額するための条例改正。

請願結果表



	請願件名	請願人	付託委員会及び審査結果	本会議審査結果
請願第2号	みなかみ町地域活動支援センターの再設置について	月夜野 3274-2 みなかみ町手をつなぐ親の会 会長 原澤 誠	厚生常任委員会 趣旨採択	全会一致 趣旨採択

6月定例議会議案の内容及び議決結果

	議案番号	議案内容	議決結果
発議	発議第1号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
	報告第2号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告	全会一致可決
報告	報告第3号	令和元年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告	全会一致可決
	報告第4号	令和元年度下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告	全会一致可決
	報告第5号	令和元年度水道事業会計予算繰越計算書の報告	全会一致可決
	報告第6号	土地開発公社の経営状況の報告	全会一致可決
人事	諮問1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	全会一致可決
	諮問2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	全会一致可決
条例他	議案第56号	令和2年度社会資本整備総合交付金事業除雪車（8t級）購入契約の締結	全会一致可決
	議案第57号	町長、副町長及び教育長の給与並びに旅費に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
	議案第58号	税条例の一部を改正する条例	全会一致可決
	議案第59号	都市計画税条例の一部を改正する条例	全会一致可決
	議案第60号	福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
	議案第61号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	全会一致可決
補正	議案第62号	議会の議決すべき事件を定める条例の制定	全会一致可決
	議案第63号	令和2年度一般会計補正予算（第2号）	全会一致可決
	議案第64号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	全会一致可決

活動報告

厚生常任委員会

6月5日、町内の障がい福祉サービス事業所「びつこる」を視察。



ぞうきんを作製中の皆さん。人気商品です。



調理室です。パンやお菓子をつくります。

この施設は、ものの作りの機会提供や、就労に必要な知識等の向上のために必要な訓練・支援を行っている就労継続支援B型事業所である。
視察では、感染症予防対策の様子や、通所者皆さんが活発に仕事をする姿勢等の活動環境を見ていただいた。一人で同じ作

業をする方が本人は楽であるが、あえていろいろな作業に加わってもらい、できることを増やすことを大切にしているとの説明を受け、職員の意識の高さを感じることができた。
今後も引き続き通所者の目線に立った支援に期待したい。

町政を問う

一般質問

Questions

一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。

執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。

定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっている。

事前通告一覧

阿部 清 あべ きよし

①避難所における新型コロナウイルス感染症への対応

窪田 金嘉 くぼた かねよし

①第2期総合戦略策定について

茂木 法志 もぎ のりゆき

①新型コロナウイルス感染症における町の緊急対応と今後の取り組み

鈴木 美香 すずき みか

①新型コロナウイルス感染症
②防災意識の向上

本多 公保 ほんだ きみお

①新型コロナウイルス収束後に落ち込んだ町の経済、産業の立て直し
②町で現在行っている他市町村との交流事業について現在の進捗状況等は。全ての交流先を教えてください。

高橋 久美子 たかはし くみこ

①コロナ対策の取り組み

牧田 直己 まきた なおき

①住民の方々の憩いの場である施設利用
②町内のインターネットを使った環境整備
③新型コロナウイルスとの『共存』を視野に入れた観光産業の取り組み
④新たに新型コロナウイルス感染が広がった際の対応

避難者への十分なスペースの確保は

町長 車中避難等の協力もお願いする



阿部 清 議員

問 感染症と自然災害の複合災害になると、感染リスクを考慮した避難が必要になり、通常の自然災害発生時よりも多くの避難所が必要になる。ホテルや旅館等の活用は。

答 町長 経営者の協力、地域住民の理解が必要。従業員の安全対策など大きな課題がある。

問 親戚や友人の家等への避難は、どのような対策を進めているか。

答 町長 自宅待機に加え、親戚や友人宅への避難を検討していただけるような周知を図る。

問 感染症の軽症者で自宅療養している人も、災害時に適切、円滑な避難の支援が求められる。

る。町の対応は。

答 町長 個人情報に十分留意し、利根沼田保健福祉事務所と連携を図り、一般の避難所とは別の避難所の確保など、適切な対応が行えるよう取り組む。

問 避難者の健康状態を効率的に把握するためには、注意深く監視する人が必要になるが。

答 町長 「避難所における感染症対策マニュアル」を参考に、適切な対応に努める。

問 手洗い、咳エチケット等の基本的な対策の徹底、避難所内での感染予防策は。

答 町長 避難の際に必要な持参物として、マスク、石鹸、消毒液、体

温計、タオル、スリッパなど事前用意を広報等を通して呼びかける。

問 避難所内での良好な衛生環境を維持するための対策は。

答 町長 ドアノブなど、共用スペース物品等は定期的に消毒する。目に見える汚れは、次亜塩素酸水や家庭用洗剤を用いて清掃する。

問 十分なスペースの確保は避難者の受け入れ体制により難しくなる。どのような方法で確保するのか。

答 町長 パーテーションなどの設置、状況により車での車中避難等の協力もお願いする。

問 発熱や咳等の症状が出た者の専用スペースの確保、感染予防策は。

答 町長 発熱、咳が出た方専用の避難所を指定させていただく。

問 避難者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合の対応は。

答 町長 県と十分に連携を図って、別の避難所への移送方法、移送する際の役割分担、手順など検討する。マニュアルについては町報やホームページで広く町民に周知する。





窪田 金嘉 議員

第2期総合戦略策定について

町長 地域産業を振興させ魅力的で安定した雇用を創出

問 学生たちが町で働く気持ちが高めるために、県内通学生たちに通学費の支援を。

答 町長 町に定住すると、定住奨励金が5年間交付される制度がある。昨年度の利用者は6名。今年卒業した者は3名。1名が町に残った。

都心部に比べれば通学費用も少なくて済むため、県内の大学、専門学校に通う学生たちへの通学費補助は、今のところ創設する考えはない。

問 奨学金制度の設立は。

答 町長 奨学金貸与条例に基づいて、月額2万円を上限に奨学金を貸与。貸与ですから、卒業後、貸与期間の2倍の期間内に返還をしてもらう。

現在貸し付け対象者は2名。貸

し付けを終了し、返還を行っている者が18名。

定住促進のため返還額の一部または全部を免除する奨学金制度を実施している自治体が全国に幾つかある。町としても、事例を調査研究して、制度化するか検討したい。

問 人口減少の克服に意味は。

答 町長 各種の施策を講じることで、できるだけ早期に人口の減少傾向に歯止めをかけ、将来的に人口構造を安定させることを目指す。

問 毎年平均、町民は何人減少していくのか。

答 町長 平均、年間400人程。定住人口1人分の年間消費額はいくらか。

答 町長 国民1人当たり約132万円。

問 町の人口減少による2019年の年間消費額減少は。

答 町長 単純にかけ合わせれば年間消費額は、5億2536万円が減少額。

問 町民の平均所得額は245万円として、町税2018年と2019年を比較した減少額は。

答 町長 約400万円の減少。

問 第2期総合戦略の策定が、第三者的な表現。誰が当事者か。

答 町長 もちろん町。町が主体となって総合戦略を実施。

問 「対策に素早く取り組む基本姿勢が求められます」と書いてある。誰が誰に対して基本姿勢を求めているのか。

答 町長 庁内の関係部署に総合戦略を推進する基本姿勢の一つとして対策に素早く取り組むことを促している。

問 どうして「稼ぐ地域づくり」を町の総合戦略に盛り込まないのか。

答 町長 町の総合戦略の基本目標の2で、「地域産業を振興させ、魅力的で安定した雇用を創出」は、「稼げる地域・所得の向上」の表現と同じ意味合い。



みなかみ町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略(表紙)



茂木 法志 議員

新型コロナウイルス緊急対応の取り組みは

町長 感染防止を目的とし備蓄品の整備を行う

問 観光と農業の当町は、経済活動再開と安心安全はセツトとして考え、各業種の事業者や従業員、そして全町民の方が生活する上でも取り組む必要性があるのではないか。

答 町長 観光関係三団体が合同で作成した独自のコロナ対応ガイドラインに基づく受け入れを基本としている。

問 観光協会等と情報共有を図り安心な温泉地であるということを示すRしていききたい。

答 町長 観光協会等と情報共有を図り安心な温泉地であるということを示すRしていききたい。

問 特別持続化給付金について、申請開始時期などいつ頃予定されているか。

答 町長 申請期間は、7月から来年の3月までを予定している。受け付け後早期に給付を行い、事業者の事業継続支援に努めたい。

問 令和2年度の固定資産税の支払いが難しい事業者に対しての対策は。

答 町長 納めるのが大変だという方については、税務課に相談してほしい。

問 アフターコロナ後の地域戦略について、今後より一層地方への関心が高まるのではないかと感じる。

答 町長 移住・定住促進に向けたオンラインの活用を含めた様々な情報発信などの取り組みや空き家の活用、また新しい住環境の確保、地域の環境整備については。

問 新幹線通勤が可能である町の有利性をさらにアピールし、要件の見直し等も行いながら移住者を増やしていきたい。

答 町長 またオンラインを活用して、町の担当者や移住希望者を結び、資料の展示や移住体験談を伝え、移住希望者の疑問等を解決し、移住を促進するため、町独自の相談会を開催したい。



ビデオ会議システムを使った移住相談会のようす



鈴木 美香 議員

学校休業中の未習内容と今後の行事予定は 今後の予定は校長会等で検討

教育長

問 我が町において雪不足の影響に引き続き、経済を止める自粛の対策。町長のメッセージを発信すべきだったのでは。

答 町長 政府や県知事からのメッセージがあったため、その時点では必要がないと考えた。今後必要と判断した場合にはメッセージを発信していきたい。

を支えていただいた。心から敬意を表するとともに深く感謝を申し上げます。手当については業種や雇用形態、危険度等状況により判断が必要。町単独では難しい。国や県、また広域の施策の中で対応を考えたい。

し、6月の第3週目から全校全学年全教科が今年度の指導内容に進む予定。

問 頻発する地震や異常気象、防災準備や意識向上のために、「防災さんぽ」の推奨を。防災は日常でも取り入れ、慣れることが大切では。

答 町長 政府や県知事からのメッセージがあったため、その時点では必要がないと考えた。今後必要と判断した場合にはメッセージを発信していきたい。

問 学校教育において前年度の学習内容の未習部分があるか、各学年においての履修段階の確認は行われたか。

問 (緊急非常事態宣言下に) ライフラインを支える業務に付き、感染リスクを負いながら社会を支えてくださったエッセンシャルワーカーの皆さまがいる。最前線業務手当は。

答 教育長 3月中旬に各学校に調査を依頼し、各学年の未指導内容を一覧にして把握している。中学3年生は未指導の内容はない。年度のまとめの時期ですべて終了した学年もあるが学年により指導すべき内容が1から2単元残ってしまった学年も。学校再開の授業で実施

答 教育長 修学旅行は、保護者の声を聴きながら検討。運動会は、学校により状況が違う。校長会で協議。水泳の授業は、今年度は実施しない。健康診断は、全部2学期に延期。GIGAスクール構想・タブレット端末は、各家庭のインターネット環境等の調査を実施。県の導入、助言を受け利根沼田で同じになるのが望ましいと指摘されている。早くても秋以降。

答 町長 住民の皆さまには自分の命は自分で守る、この大原則の下、避難路の確認を行うなど日頃から災害・防災について考えていただくよう啓発をしたい。



答 町長 感染症拡大が続く中、また外出自粛要請中にも私たちの生活

を支援していただいた。心から敬意を表するとともに深く感謝を申し上げます。手当については業種や雇用形態、危険度等状況により判断が必要。町単独では難しい。国や県、また広域の施策の中で対応を考えたい。

答 教育長 修学旅行は、保護者の声を聴きながら検討。運動会は、学校により状況が違う。校長会で協議。水泳の授業は、今年度は実施しない。健康診断は、全部2学期に延期。GIGAスクール構想・タブレット端末は、各家庭のインターネット環境等の調査を実施。県の導入、助言を受け利根沼田で同じになるのが望ましいと指摘されている。早くても秋以降。



本多 公保 議員

新型コロナウイルスに対する経済支援は 町が一体となり取り組みたい

町長

問 新型コロナウイルス感染症収束後、もう一度頑張ろうという観光関連業界の人に町長からメッセージをいただきたい。

答 町長 事態はまだまだ予断を許さない状況である。町・議会・関係機関と協力を図り、できる限りの支援を行いたい。

問 農業も大きな打撃を受けている。サクランボ農園、ブルーベリー園、畜産農家等の支援は。

答 町長 町地産地消推進協議会で検討し、農産物直売所を中心に、新鮮宅配事業、学校給食への農林畜産物の供給拡大、友好都市へのイベント直売等を計画している。

答 町長 新たな交流委員会の設置は内容を考慮しながら研究していきたい。

問 国・県・町で行なっている主な支援策の申込数は。

答 町長 国の給付金に対する相談件数は92件、県の事業継続支援金は41件、町の小規模事業者賃料補助金は46件、雇用継続支援助成金は1件である。

問 町が交流を結んでいる都市は何処で、幾つくらいあるか。

答 町長 国内5市町村、国外1都市計6都市と友好協定を結んでいる。交流内容は町の新鮮野菜や果物などをイベント会場などで販売。観光情報の発信と併せてPR

問 観光産業の復活と農業の繁栄なくして、町の再生はないと思うが。

答 町長 第1弾、第2弾の補正予算を提案しているが、町民・議会・町当局・各団体一緒になって取り組まないと難しいと思う。ぜひ協力をお願いしたい。



姉妹でさくらんぼ狩り。毎年の楽しみ。



高橋久美子 議員

どんなことも相談できる受け皿を！

町長 今後の状況を見ながら検討

問 特別定額給付金について何う。10万円を給付するとい

う未だかつてない経済対策。町の対応を多くの方から聞かれた。国難を克服する為、迅速で的確に町民の方に届ける意義。事前申請方式は良かった。しかし、5月11日ホームページに載せたにもかかわらず11日の時点で防災メールでの対応をなぜ取らなかったか。

答 町長 当初オンライン申請と郵便申請の方法しか考えてなかった。郵便申請が5月28日発送と決まっ

たが、余りにも遅すぎると事前申請方式での対応を実施。防災メールの登録件数が4千538件と件数が少なかったことから、防災メールでの情報発信はやらなかった。

問 新しい生活様式の取り組みだが回覧板で1度回された

だけ。各戸に分かりやすいチラシを配布するなど周知徹底は。

答 町長 取り組んでいきたい。

問 緊急時の情報発信と情報収集は、町民の生命、安全と

安心を守る為大切。藤岡市では群馬テレビのデータ放送を活用し市政情報を表示している。テレビはどの家庭にもあるので当町での導入検討は。

答 町長 他市町村の動向も注視しながら採用する方向で検討していきたい。

問 若いお母さんから、コロナの影響でご主人の仕事がな

くなり、経済的に大変だけれど、どこに相談したらよいのか分からないとの相談も。今後長引けば長引くほど影響が出てくると思う。「誰も置き去りにしない」とのおもいで、徹底して町民の方に寄り添うことが一番大事。具体的にはどんなことも相談に乗る受け皿を作って頂きたいと思うが。経済で命を落とすようなことがあっては絶対にならない。見解を伺う。

答 町長 役場のなかにいろいろの相談を受けられる体制を作っていくことは考えていかなければと思う。今後の状況を見ながら検討していきたい。



群馬テレビのデータ放送。リモコンのdボタンを押します。



牧田 直己 議員

H E A R Tカード利用向上の取り組みは 町長 会員数を増やしたい

住民の憩いの場について

問 老人福祉センターが閉館となり、代替えとして保健福祉センターの利用を皆さんに願

いする形となったが住民の様子をどのように感じているか。

答 町長 3月に行った住民説明会でご理解いただいたという認識でいる。

問 住民の声をもっと親身にな

って聞いていただくことが必要と感じるが。

答 町長 今の時代、施設を新設し維持していくことは厳しい。住民の意見を聞く耳は持っているつもりだが、全て飲み込むのは難しい。

月夜野多目的広場について

問 最低限度のトイレや更衣室、日よけスペースやA E Dがない。利用者の有事の際の健康状態が心配だが、計画は。

答 町長 多目的広場の施設について当面整備計画はない。

問 多目的広場のそれら足りない施設は今まで老人福祉センターが担ってきた。目の前の都市計画道路の計画が進むに当たりそれら最低限の設備を整える予定は。

答 町長 道路ができた時点で考えていく。

地域内経済循環について

問 町内での経済循環を促進させるうえでH E A R Tカードは有効である。会員数が増えれば増えるほど町内でお金が回ること

に繋がる。利用向上のための取り組みは。

答 町長 ポイント還元率を拡大したプレミアムポイント事業により、5000万円相当の経済効果を見込み、加盟店舗の拡大と会員を20000名に倍増したい。

地場産品普及開発事業促進補助金について

問 企業同士、共同で商品開発ができるようにするなど自由

度で特化した制度にするのは。



みなかみハートカード

答 町長 それぞれ勘案して検討していきたい。

ふるさとクイズ



★この頁は町民皆様にご参加いただく頁です。以下を参考にふるってご参加下さい。
★正解者には抽選で若干名様に粗品を進呈いたします。

参加のきまり

下のハガキまたは、裏面のFAX用紙などに、クイズの答え・住所・氏名・議会への伝言を記入し、お送りください。
※下のハガキは、裏面を記入後に必ずのり付けをして投函ください。

〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑 318
みなかみ議会だより
「ふるさとクイズ・ご意見」係
締切：2020年8月31日（当日消印有効）
※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

モグラ駅 地下ホームの階段数は？

- Ⓐ 48
- Ⓑ 486
- Ⓒ 4860

前回の議会だより 62号ふるさとクイズの正解は『Ⓑ 豆まき入道』でした。

0
9
3
1
9
7
3

群馬県利根郡みなかみ町後閑 318

みなかみ議会だより

「ふるさとクイズ・ご意見」係

料金受取人私郵便
沼田局承認
798

差出有効期間
2021年3月
31日まで
(切手不要)

記入欄は裏面にあります

山折リ線



赤谷湖と花火（フォトコンテストより）



町の お宝紹介



モグラ駅

素晴らしいこの町を町民の皆さんと一緒に大切にしていけるため、議会発で町にある「お宝」を再確認するコーナーです。
「この町には、いろいろある。何もなければいい。」このコーナーでは、皆さんからの情報もお待ちしております。
町のお宝をご存じの方は是非ご一報ください。

上越線土合駅の駅舎と下りホームの標高差は70・7メートル。階段にして486段。下りホームは新清水トンネル内の地下にあるので「日本一のモグラ駅」と呼ばれています。かつては多くの登山者で賑わっていた土合駅ですが、乗降客が減少したことを理由に1985年から無人駅となりました。編集委員が取材した日の乗降客は私たちの他2〜3人でしたが、夏季や秋季は登山者を中心として一定数の利用があり、また地下ホームを目当てに訪れる観光客もいるそうです。

これなんだ？



462段上った所で見つけた謎の構築物。

取材中、編集委員が見つけたこちらは連絡通路の風よけです。(③の写真)
これは地下ホーム列車通過時の突風緩衝用構築物です。
突風を体験することは叶いませんでしたが、山開きのイベントで通路に置いたキャンドルの炎が全て消えてしまうほどの風が吹くそうです。

土合駅舎



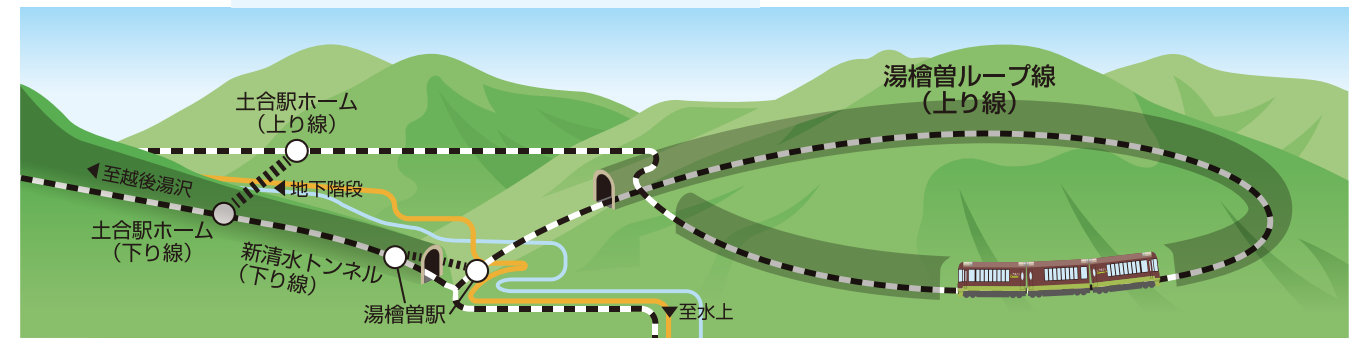
目前に続く階段。上れるか不安になりました。



あと少しです。

モグラ駅・ループ線の仕組み

高低差の大きな線区で勾配を緩くするため、線路をループ状に一周させて勾配を克服する線路。下を見下ろすと、これから通る線路を眺めることができます。



※イラスト：町観光協会提供



この電車がループ線を通り下のトンネルから出てきます



皆さんの
おたより

ハガキの方は、この線で切り取り
内側へ貼り合わせて投函してください。

← FAXの方は、この線で切り取ってご利用下さい。

FAX番号 0278-25-8127



○クイズの答え ⇨

○差出人住所 ⇨ 〒

○差出人氏名 ⇨ (ふりがな)

○年 代 ⇨ ・～10代 ・20代 ・30代
(該当項目に○印を付けてください) ・40～60代 ・70代～

○議会への伝言

のりしろ

のりしろ

のりしろ

議会傍聴のご案内

傍聴は、どなたでもできます。ただし、当日議場入口で受付を済ませてからご入場ください。

…………… 流 れ ……………

- ①受付にて「受付表記入（住所・電話番号・氏名・年齢）」
- ②受付表を係に渡して「傍聴カード」を受け取る
- ③傍聴席へ
- ④帰りに「傍聴カード」を返却箱へ入れて終了

※注意／飲食・録画・録音・写真撮影は禁止。

次回の定例会は

**9月 1日（火）～
9月11日（金）の予定。**

場所：役場本庁舎3階議場

時間：開会は9時

席数：34席

【問合せ先】議会事務局
☎25 - 5023

議会だより編集特別委員会

委員長…森 健治
副委員長…高橋久美子
委員…鈴木 美香・阿部 清
窪田 金嘉・本多 公保
中島 信義
編集アドバイザー
利根川太郎
編集モニター
利根商業高等学校生徒

よせられた
声

70代
空き家が増えていて、若い人・大家族・都会の人たちに広告し、まずは見に来てもらうことが大事だと思う。
町の人口を増やすことが大事だと思う。
(後関)



70代
町のゴミ袋に名前を書かないで出す人が多くなった。
指定日以外に出される無記名の袋に危険物等が入っているのが困る。それらのゴミを分別すると、いろいろな物が入っている。
可燃ゴミ・不燃ゴミにしろ、皆さんにもう少しゴミの出し方を考えてほしい。
(布施)



（顔マーク 利根商生作）

70代
議会だより、最近よく読むようになった。読みやすくなったと思う。
「町のお宝」は、同じみなかみ町でも知らない所がいっぱいあるので楽しんだ。
(須川)



令和2年度 群馬県総合表彰

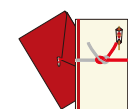
小野章一議長が群馬県知事より令和2年度群馬県総合表彰を受けました。

長年にわたる地方自治功労が認められた受賞です。引き続き町づくりにご尽力くださるようお願いします。



虚礼廃止にご協力を

議員は公職選挙法により、左記の行為は禁止されています。また、町民の皆様が議員に寄付を求めるようなことも禁止されています。
趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。



秘書などが代理で出席する場合の結婚祝



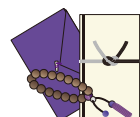
入学祝・卒業祝



町内会の宴会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差し入れ



お祭りへの寄付や差し入れ



秘書などが代理で出席する場合の香典



葬式の花輪・供花



落成式・開店祝の花輪



お歳暮やお年賀



地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れ

【人事異動のお知らせ】
新事務局長…桑原孝治

(森 健治)